

## 「牧園小学校における社会科『牧園むかし歩き』の取組」

### 1 学 校 名

霧島市立牧園小学校

### 2 学年・人数

3年生：12人，4年生：18人

### 3 日時・場所

平成31年2月5日(火)1校時～4校時(8:50～12:20)

牧園小学校→戦没者慰霊碑(愛宕神社)→石倉→島津源七郎・おいつ様のお墓→田原の鎮守堂→安土桃山時代に虎狩りでもらったごほうび→宮之橋→飯富神社→牧園小学校

### 4 活用に取組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

#### (1) 石倉

ア 時代

大正7年に建造

イ 特徴

米を検査する倉庫であり，この地が牧園の中心であったことを物語っている。

#### (2) 島津源七郎・おいつ様のお墓

ア 時代

島津源七郎(1574～1621)，おいつ様(源七郎の姉)(1566～1621)

イ 特徴

島津家久の子孫であることや生い立ち，牧園・加治木の生活の様子が墓や副碑に彫られている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

(1) 霧島市文化財保護審議会委員で牧園の史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会の手嶋正次会長を中心に川越誠氏他4人の方々計6人の方々が参加された。

(2) 1月17日(木)の午後4時から手嶋氏と川越氏に来校していただき，3年担任の東教諭と4年担任の角屋敷教諭で2月5日(火)の打合せを行った。

(3) 2月5日(当日)を迎える前に児童は，訪れる所を事前に学習したり，飯富神社やいなぞう踊りのDVDを視聴したりした。

(4) 当日質問する内容を考えたり，当日の注意事項を確認し，ボランティアの方々に気持ちよく教えていただけるように準備した。

### 6 活用の取組を工夫した点

(1) 牧園の史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会との連携

会員は，県文化財保護指導員委員や霧島市文化財保護審議会委員等であり，校区の文化財に造詣がある。

(2) 児童の課題意識を高める手立て

当日の学習に向けて事前学習として関連資料となるDVDの視聴や講師への質問を準備させた。

(3) 校外学習の安全面への配慮を強化

牧園の史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会のメンバーと引率の教職員を合わせて10人で児童の安全管理をした。

(4) 学習をフィードバックさせる機会の設定

講師の方々へのお礼状作成（作文指導）や新聞への寄稿などを通して学習の振り返りをさせた。牧園の史跡・文化財・景観モデルロード実行委員会のみなさんから大変好評を得た。

## 7 活動の様子(活動風景)



【石倉の見学】



【島津源七郎の墓・おいつ様の墓】

## 8 参加者の感想

### 【児童の感想】

- わたしは「牧園に生まれてよかった」と思いました。牧園には石倉や島津家のお墓や石橋など、大事なものがたくさんありました。牧園小の周辺が牧園の中心だからあるんだと思いました。
- 一番びっくりしたのは、島津源七郎・おいつ様のお墓です。牧園の地にある理由や当時信じていた宗教のことが分かりました。おいつ様は心のきれいな人だと思いました。
- 一番心に残ったのは、豊臣秀吉の命令で朝鮮に行って虎狩りをして成功した兵士の子孫が牧園の方だったことです。お礼に三味線を頼んで、それを大事に子孫の方が大切に保管されており、見せてくれました。三味線に貼られた猫の皮は、せんべいみたいでした。お宝だと思います。牧園には、勇敢な方々の子孫が住んでいるんだと思いました。
- うれしかったのは、テッシュでつくられた強いしめなわをおみやげにもらったことです。一枚のテッシュは簡単にちぎれるのに、川越さんが上手に編むと強い一本のしめなわになりました。すごかったです。家で家族にも見せるとびっくりしていました。

### 【教職員の感想】

- 子どもたちに手作りの絵や家系図、紙芝居を使って要所で説明していただき、とてもよく理解できました。牧園のすばらしさを再確認できたので全職員で共有したい。